

〔釈文〕

北陸三県／大つなみ ホーカイぶし

(上段)

「北陸の。大つなみ、水害さハぎの有さまハ、  
眼もあてられぬ憐れさまよ、ホーカイ、

「怖ろしき。いきほひ激しき大つなみ、

のがれるひまも五分間、ホーカイ、

「あわれさの。限りハ今度の大つなみ、

末代までもはなしたね、ホーカイ、

「見るうちに。家ハ崩れて流れゆく、

箸も持たない立のまゝ、ホーカイ、

「おどろきし。万代未聞の水害ハ、

青森・岩手に宮城県、ホーカイ、

「船に居て。助かる漁夫のうん強く、

さすかる誠の天命か、ホーカイ、

「時節とハ。あきらめながらも、遂愚痴を

こぼす凡夫の浅ましき、ホーカイ、

「地震より。亦もこハいハ大つなみ、

のがれる道さへ水の原、ホーカイ、

「両親に。離れて叫ぶ子供あれば、

妻や夫とに生わかれ、ホーカイ、

(下段)

「無惨なれ。／六万有余の死傷しやに、

のこる妻子ハ／憐れなり、／ホーカイ、

「お恵ミハ。政府の／慈悲の救助に、

万民なみだを／なかせ米、／ホーカイ、

「四海みな。兄弟／なりやこそ、

捨てゝハ／おかず、／俱共募集の義捐金、／ホー／カイ、

(※)。「」は白抜き点、歌唱記号カ)